

# 平成30年矢巾町議会定例会12月会議

## 一般質問議員と質問事項一覧表

| 受付順 | 質問議員           | 質問事項                                 | 答弁者   |
|-----|----------------|--------------------------------------|---|
| 1   | 12番<br>長谷川 和 男 | 1. 町長の再選出馬について                       | 町 長   |
|     |                | 2. ウェルネスタウンとして目指す姿とその取り組みによる町の変化について | 町 長   |
|     |                | 3. 大学や企業等との協定による効果について               | 町 長   |
|     |                | 4. 本町の将来人口目標3万人について                  | 町 長   |
|     |                | 5. 第7次矢巾町総合計画の事業達成への決意と意気込みについて      | 町 長   |
| 2   | 7番<br>昆 秀 一    | 1. 投票率の向上について                        | 町長・教育長・<br>選挙管理委員会委員長                                   |
|     |                | 2. がん対策について                          | 町長・教育長  |
|     |                | 3. ノーマライゼーションという言葉のいらぬまちづくりについて      | 町長・教育長  |
|     |                | 4. 少子化対策について                         | 町長・教育長  |
|     |                | 5. 非営利法人・団体の役割と町との関係について             | 町 長   |
| 3   | 4番<br>高橋 安子    | 1. 地域包括ケアシステムの取り組みについて               | 町 長   |
|     |                | 2. 引きこもりへの支援について                     | 町 長   |
|     |                | 3. 本町の先人教育について                       | 教 育 長   |
|     |                | 4. 普代村とのさらなる交流について                   | 町 長   |
| 4   | 6番<br>村松 信一    | 1. 県央ブロックごみ処理施設と盛岡・紫波地区環境施設組合施設について  | 町 長   |
|     |                | 2. 矢巾町公共施設等総合管理計画について                | 町 長   |
|     |                | 3. 平成31年度当初予算編成の基本的考えについて            | 町 長   |
| 5   | 2番<br>水本 淳一    | 1. 歴史的風致維持向上計画について                   | 教 育 長   |
|     |                | 2. 小中学校の学力向上の取り組みについて                | 教 育 長   |
|     |                | 3. 「ごみのポイ捨て」撲滅の取り組みについて              | 町 長   |
| 6   | 5番<br>齊藤 正範    | 1. まちづくりの考えについて                      | 町長・教育長  |
|     |                | 2. 新農業委員会の活動方針について                   | 農業委員会会長   |
| 7   | 1番<br>赤丸 秀雄    | 1. 義務教育環境における現状と課題について               | 教 育 長   |
|     |                | 2. 健康に係わる町の取り組みについて                  | 町長・教育長  |
|     |                | 3. 地域公共交通の方針について                     | 町 長   |
| 8   | 3番<br>廣田 清実    | 1. 町営住宅について                          | 町 長   |
|     |                | 2. 異臭問題の解決について                       | 町 長   |
|     |                | 3. 人口3万人構想について                       | 町 長   |
| 9   | 9番<br>川村 農夫    | 1. 開発行為に伴う治水対策について                   | 町 長   |
|     |                | 2. 地域計画の視点欠落                         | 町 長   |
|     |                | 3. 中心中核の施策に周縁弱者は切り捨てか                | 町 長   |
| 10  | 14番<br>小川 文子   | 1. ふるさと納税について                        | 町 長   |
|     |                | 2. デマンドタクシーについて                      | 町 長   |
|     |                | 3. 町営住宅について                          | 町 長   |
|     |                | 4. 子どもの医療費助成について                     | 町 長   |
| 11  | 13番<br>川村 よし子  | 1. 学校給食費無料化の情勢について                   | 教 育 長   |
|     |                | 2. 福祉施設・教育施設へのエアコン設置について             | 町 長   |
|     |                | 3. 国保税の均等割減免について                     | 町 長   |
| 12  | 10番<br>山崎 道夫   | 1. 定住人口増に向けた土地利用の取り組みについて            | 町 長   |
|     |                | 2. 「道の駅構想の実現」に向けた取り組みについて            | 町 長   |
|     |                | 3. 学校教育設備の整備に対する取り組みについて             | 教 育 長   |
| 計   | 12名            | 41件                                  | 町 長 34件<br>教 育 長 12件<br>農業委員会会長 1件<br>選挙管理委員会<br>委員長 1件 |

# 一 般 質 問 通 告 書

矢巾町議会議長 廣 田 光 男 殿

|          |             |                          |
|----------|-------------|--------------------------|
| 受付 No. 1 | 平成30年11月21日 | 午前・ <del>午後</del> 9 時00分 |
| 議席番号12番  | 長谷川 和 男     |                          |

| 番 号  | 質 問 要 旨   |
|------|---|
| 質問 1 | <p>(質問事項) 町長の再選出馬について<br/>(答弁者) 町 長</p> <p>高橋町長は来年4月29日任期満了に伴う町長選に再選を目指し、無所属で立候補する意向を先月4日に意思表示され、常に町民の信頼性も厚く、このたびの報道による表明は、町民の期待に忘れたものと思われまますことから、以下伺います。</p> <p>① 次期町政を担う決意について改めて伺う。<br/>② 本町は県内外から注目されていることから、さらに施策を確実に実行するため、政策顧問あるいは政策秘書が必要であると考えられる。本町は、岩手医科大学の進出による医療都市革命とも言えるような、県の中核を担う大革命の渦中にあり、そこにはこれまで町として経験したことのない重要課題が山積している。この課題に対応するため、役場の組織体制を適時に更新され、実務担当レベルを強化、充実されたことについては評価している。現下の状況を鑑みると町政の舵取りの大局的な観点から、高橋町長の傍らで支える政策顧問のような役目も必要な節目であると考えるが、所見を伺う。</p> |

|             |  |
|-------------|--|
| <p>質問 2</p> | <p>(質問事項) ウェルネスタウンとして目指す姿とその取り組みによる町の変化について<br/>(答弁者) 町 長</p> <p>本町は、岩手医科大学やとなん支援学校、療育センターなどが開校し、附属病院の開院も間近になるなど、医療、福祉の環境が充実してきております。そのような中、町が地方創生のキーワードとしてウェルネスタウンを打ち出してから2年の歳月が経過したことから、以下伺います。</p> <p>① ウェルネスタウンの目指す姿はどのようなものか、改めて表明されたい。</p> <p>② その取り組みにより町として、現在、どのような変化が見られるようになったか示されたい。</p>   |
| <p>質問 3</p> | <p>(質問事項) 大学や企業等との協定による効果について<br/>(答弁者) 町 長</p> <p>近ごろ、地方公共団体と大学や企業等との協定締結の記事等、報道紙面に載らない日は無いほどに感じています。本町も、例にもれず、諸々の協定について各紙にたびたび掲載されています。</p> <p>協定締結は、町にとっては手法の得意と分野の能力提供を期待するものであろうと思われれます。しかし、この協定は、両刃の剣ともなる得るものであり、行為の契約の相手方とする場合、大学や企業等にとっては独占的、排他的な効果を有するものであってはならないと考えることから、以下伺います。</p> <p>① 各種の協定において、協定の趣旨から、その妥当性について伺う。</p> <p>② これまで本町が締結してきた協定について、期待される効果とこれまでの成果を示されたい。</p> |

質問 4

(質問事項) 本町の将来人口目標 3 万人について  
(答 弁 者) 町 長

現在、全国の地方公共団体が最重要課題として取り組んでいることは、人口減少対策ではないかと思われます。対策を講じず怠ると、その自治体では人口減少による社会変化が起き、あらゆる持続可能な社会保障制度の維持が困難な状態と言われています。

本町においては、少子化対策として、子育て支援や若者定住支援など各種の支援策があり、徐々にその成果が表れてきており評価しています。本町の将来人口目標 3 万人に向けて、町営住宅の老朽化に伴う今後の対策と土地の利活用について、以下伺います。

- ① 矢巾住宅団地は、昭和42年～44年に33戸程の戸建て住宅として建てられ、現在は29戸に入居者がおり、1戸は修繕ができず空き家となっている。52年の年数が経過しており、当時の建築状況から見ても、かなり住居として傷みがあるのではないか。現在入居されている町民の方々も不便さを感じているものと思われる。矢巾住宅団地の今後の方針について伺う。
- ② 矢巾住宅の位置的な環境状況から、総面積1,450坪を有していることから、現在の入居されているの方々も含め、民間のノウハウを活用しながら、主に子育て世代を対象とした定住促進住宅を整備し、子育てしやすい安心して定住できる生活環境である高層住宅を検討すべきと考えるが、町の考えを伺う。

質問 5

(質問事項) 第7次矢巾町総合計画の事業達成への決意と意気込みについて

(答弁者) 町 長

高橋町長が就任して間もなく、平成28年度を初年度として策定された第7次矢巾町総合計画（期間：28年度～35年度までの8年間）は、来年度が中間年度となります。

これまで、高橋町長が自ら策定した総合計画の達成に向けて先見力と判断力、そして何よりも実行力で町政の舵取りに邁進してきたことに疑う余地はないと思っております。

その成果として、矢巾スマートインターチェンジなどが挙げられますが、人口減少等による土地利用対策など重要課題についての取り組みは、まさに今がクライマックスを迎えているところであります。

そこで、道半ばである第7次矢巾町総合計画について、国道4号盛岡南道路の建設計画など、これからどのような姿勢で臨まれるのか、高橋町長の所見を伺います。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

|                 |             |                          |
|-----------------|-------------|--------------------------|
| 受付 No. <u>2</u> | 平成30年11月21日 | 午前・ <del>午後</del> 9 時00分 |
| 議席番号 <u>7</u> 番 | 昆 秀 一       |                          |

| 番号  | 質問要旨  |
|-----|---|
| 質問1 | <p>(質問事項) 投票率の向上について<br/>(答弁者) 町長、教育長、選挙管理委員会委員長</p> <p>来年には町長選をはじめとした選挙がありますが、ここ最近の投票率は低下傾向にある。18歳の選挙権が導入されて2年余り経つが、若い世代の政治離れは改善されていないように思う。そこで、今後より多くの方に政治に対して興味を持ってもらい、住民参加の行政運営をするきっかけ作りのための投票率向上への取り組みについて、以下伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① 投票率の現状をどう捉え改善すべきと考えているのか。</li><li>② 共通投票所を新たに設置してはどうか。</li><li>③ 期日前投票所の増設と期日前投票の時間の弾力化を。</li><li>④ 投票所への移動支援について。</li><li>⑤ 地域活性化と投票率向上の方法として、投票所来所証明書を発行し、それを持参した場合に飲食店などでのサービスや割引を受けられるようにしてはどうか。</li><li>⑥ インターネット投票ができるようにならないか。</li><li>⑦ 学校での主権者教育にどう取り組んでいるか。</li></ol> |

|             |   |
|-------------|---|
| <p>質問 2</p> | <p>(質問事項) がん対策について<br/>(答 弁 者) 町長、教育長</p> <p>生活習慣病というのは、がんや糖尿病・脳梗塞などの病気は生活習慣が要因であるという考えのもと付けられたものようだが、いくら生活習慣を良くしていてもかかってしまう場合もある。その生活習慣病の1つであるがんだが、日本人の2人に1人がかかる病気である。そこで、行政の支援等や対策が必要であるところから、以下伺う。</p> <p>① がん予防推進の取り組みは。<br/>② がん早期発見推進の取り組みは。<br/>③ がんに対する相談体制は。<br/>④ がんに関する情報などの周知方法は。<br/>⑤ がん患者等に対する費用や就労に関する支援は。<br/>⑥ がんに関する教育での取り上げ方について。</p> |
| <p>質問 3</p> | <p>(質問事項) ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくりについて<br/>(答 弁 者) 町長、教育長</p> <p>ノーマライゼーションとは、高齢者・障がいの有無といった年齢や社会的マイノリティーといったことに関係なく、生活や権利などが保証された環境を作っていく考え方のことだが、これは日本の福祉政策においての基本的な理念である。このことから、特に医療・福祉の県内拠点となり得る本町で特に取り組んでいく必要性があるところから、その見解を以下伺う。</p> <p>① 本町で障がい者を採用する際の応募資格に「自力通勤可能」「介護者なしで業務遂行可能」などの条件はあるのか。<br/>② 障害者差別解消法の制定以来、町民のこの法律に対する認知度をどう捉えているのか。</p>   |

|             |  |
|-------------|--|
|             | <p>③ ノーマライゼーションに対する学校教育・社会教育をどのように行っているか。</p> <p>④ 町内の医療・福祉機関等と連携した合理的配慮などの取り組み状況は。</p> <p>⑤ インクルーシブ教育の現場等での浸透度は。</p>  |
| <p>質問 4</p> | <p>(質問事項) 少子化対策について<br/>(答 弁 者) 町長、教育長</p> <p>少子高齢化は全国的な問題である。本町では人口3万人を目指して各施策に取り組んでいる。ただ、ほとんどの自治体でも人口をできるだけ減らさないようにしている。そこで、やはり自治体間競争による人の取り合いというところも出てくるのは必然である。そのため、より矢巾町独自の施策を打ち出し、人口獲得に努めていく必要がある。しかし、その人口の社会的増加と、同時に自然増加のため独身者に結婚してもらい、新しく子どもが生まれるような環境を作るための施策の充実も必要である。そこで、以下伺う。</p> <p>① 今後の出生率を上げるための対策にどう取り組んでいるのか。</p> <p>② 婚活支援の現状について。</p> <p>③ 婚活イベントの効果と検証・改善の考え方について。</p> <p>④ 独身者の意見の聴取をどう行っているか。</p> <p>⑤ 少子化対策としての教育の役割をどう捉えて実践されているのか。</p> |



質問 5

(質問事項) 非営利法人・団体の役割と町との関係について  
(答 弁 者) 町 長

本町には、社会福祉法人や医療法人などの非営利法人組織となっているものや、ボランティアを主体とした任意団体などの各団体が存在する。そこで、それら各法人などの団体と町との関係や支援等について以下伺う。

- ① 社会福祉法人としての役割と町との関係について。
- ② ボランティアを中心とした活動団体に対する支援は。
- ③ 各非営利法人・団体に対する委託の状況は。
- ④ 各非営利法人・団体に対する補助金の状況は。
- ⑤ NPO法人に対する本町の支援としての特徴は。
- ⑥ 町内の学校法人と町との関係、特に岩手医大との連携は。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

|          |             |                         |
|----------|-------------|-------------------------|
| 受付 No. 3 | 平成30年11月21日 | 午前・ <del>午後</del> 9時00分 |
| 議席番号 4番  | 高橋安子        |                         |

| 番号  | 質問要旨   |
|-----|--|
| 質問1 | <p>(質問事項) 地域包括ケアシステムの取り組みについて<br/>(答弁者) 町長</p> <p>団塊の世代が後期高齢者を迎える2025年問題に向けて、国が地域共生社会の実現に向けての方向性を打ち出してから1年半以上が経過しましたが、本町での取り組みについて以下伺います。</p> <p>① 地域包括ケアシステムの構築に向けて進捗状況は。<br/>② 専任職員を置いて地域資源を発掘するとのことであったがどうなっているか。<br/>③ コミュニティ組織との連携の状況について。<br/>④ 本年10月から盛岡市のふれあいランド岩手で、介護入門者研修が実施されたが、本町からの受講はあったか。研修会の開催について、町民にどのように周知したか。<br/>また、今後、町独自で研修を実施する予定はあるか。<br/>⑤ 町と地域住民が協力して、一人暮らしの高齢者等が空き家等を利用し共同生活できる住宅「地域コミュニティホーム」を実施する考えはないか。</p> |
| 質問2 | <p>(質問事項) 引きこもりへの支援について<br/>(答弁者) 町長</p> <p>ここ数年、30代、40代の引きこもりが多くなり、年金暮</p>  |

|            |  |
|------------|--|
|            | <p>らしの親が子どもを養う8050問題が深刻化しています。16歳から39歳までの引きこもりが推定で54万人、さらに40代以上を加えると100万人ともいわれており、危機的状況にあります。そのことから以下伺います。</p> <p>① 以前質問した際、本町でも引きこもりの状況を一部把握し、支援しているとの答弁であったが、その後の状況はどのようなになっているか。</p> <p>② 本町で把握している中で、40代以上の引きこもりの状況はどうか。</p> <p>③ 今後、引きこもりに特化した支援員を配置する考えはあるか。</p> |
| <p>質問3</p> | <p>(質問事項) 本町の先人教育について<br/>(答弁者) 教育長</p> <p>先月13日に紫波郡町議会議長会において、<small>たつみ せい</small>巽聖歌の顕彰と先人教育について研修しました。本町では、小学校の社会科副読本「わたしたちの町やはば」に郷土の先人が紹介されているとのことでした。本町の先人教育について、どのように実施されているか伺います。</p>  |
| <p>質問4</p> | <p>(質問事項) 普代村とのさらなる交流について<br/>(答弁者) 町長</p> <p>10月に実施された本町の秋まつりに、普代村の女性団体が訪問されました。少しの時間でしたが、昼食をとりながらの和やかな交流ができました。そこで、今後の普代村との交流について、どのように考えているか伺います。また、全国の他市町村と交流する考えはあるか、併せて伺います。</p>   |

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

|                 |             |                          |
|-----------------|-------------|--------------------------|
| 受付 No. <u>4</u> | 平成30年11月21日 | 午前・ <del>午後</del> 9 時00分 |
| 議席番号 <u>6</u> 番 | 村松 信 一      |                          |

| 番号  | 質問要旨   |
|-----|--|
| 質問1 | <p>(質問事項) 県央ブロックごみ処理施設と盛岡・紫波地区環境施設組合施設について<br/>(答弁者) 町長</p> <p>岩手県ごみ処理広域化計画(平成11年3月策定)において、盛岡市を含む3市5町で構成される県央ブロックに盛岡・紫波地区環境施設組合は位置付けられ、最終的に処理施設を1カ所に集約してごみ焼却を広域処理する方向で検討されております。平成30年2月頃を予定しておりました整備予定地について、候補地は現在4カ所となっておりますが、決定が遅れております。</p> <p>新たに整備が計画されている県央ブロックごみ処理施設と、現在稼働している盛岡・紫波地区環境施設組合の今後の施設運営全般について、以下5点について伺います。</p> <p>① 平成41年を稼働予定としている広域ごみ処理施設の候補地の絞り込みが遅れている現在、候補地の決定はいつ頃になる見込みか。また、稼働年度の計画変更はあるのか。</p> <p>② 燃えるごみの中継基地として、八幡平市、岩手・玉山環境組合、盛岡・紫波地区環境施設組合の3カ所が予定されているが、盛岡・紫波地区環境施設組合はどのような内容の中継基地か。</p> <p>③ 広域ごみ処理施設の稼働計画にあたり、現在の施設はどのような運営になるのか。また、新規取り扱い事業も含めた活用方法等について、関係行政・民間会社・地域住民が</p> |

|             |   |
|-------------|---|
|             | <p>一体となり施設運営検討委員会のような組織を設置する必要があると考えるがどうか。</p> <p>④ リサイクルコンポストセンターについて、同様の施設が全国に46カ所程あり、その内10施設程が産業廃棄物(事業系・生ごみ等食品系)を受け入れている。広域ごみ処理施設の整備に合わせ、新たな取り組みとして、事業系産業廃棄物の受け入れを検討するなど、規模拡大を図る考えについて伺う。</p> <p>⑤ 広域ごみ処理施設の稼働を見据え、現在の施設について、産業廃棄物等(建設廃木材等)を処理できる施設とする考えはどうか。また、新施設は焼却施設のみで、最終処分地は未定となっているが、現施設を最終処分場にする構想はあるか。</p>  |
| <p>質問 2</p> | <p>(質問事項) 矢巾町公共施設等総合管理計画について<br/>(答弁者) 町 長</p> <p>矢巾町公共施設等総合管理計画は、公共施設等の全体の状況を把握し長期的な視点をもって、更新、統廃合、長寿命化を計画的に行うことにより、財政負担の軽減、平準化を図ることで公共施設等の最適な配置を実現することを目的に策定するものであるとして、平成28年度に個別資産の把握・分析を行い、29年度から31年度に総合管理計画の具体化を図り、32年度から37年度に本格的なアセットマネジメントを展開するとしております。この計画は町ホームページにも記載されておりますが、以下3点について伺います。</p> <p>① 町が策定した公共施設等総合管理計画は、26年4月に総務省から示された「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」にある、総合管理計画に記載すべき事項の「一公共施設等の現況及び将来の見通し」の一部であるという認識でよいか。</p> <p>町が策定した計画は、主に人口の推移と今後の見通し、公共施設の概要(名称・構造・取得価額・供用開始日・総</p> |

床面積・耐用年数)、総合管理計画の基本的な考え方が記載されるに留まっており、計画策定の準備段階のものである。本来記載されるべき事項である老朽化の状況や利用状況の調査はいつ行うのか。また、計画の大前提となる財源について、何年先まで予測しているのか。

平成29年度から31年度までの3年間で具体的計画を策定するとあるが、進捗状況はどうか。指針に示されている記載すべき各事項について、調査・シミュレーション・検討などの状況を具体的に伺う。

また、記載すべきすべての事項は、平成31年に公共施設等総合管理計画として公表(ホームページ等に掲載)されるということによいか。

- ② 現在は、住民の意見を幅広く取り入れ合意形成が必要な期間であると思われるが、どのような方法で情報を提供し、また意見を集約するのか。見直し・策定においてプランクスツェレ的手法(住民間討議)やフューチャーデザイン手法を取り入れると計画にあるが、具体的にはそのような住民参加の話し合いを何回程度実施し、話し合いの内容をどの程度公表する予定か。
- ③ この計画を踏まえ、個別施設の計画も作成する予定となっているが、この個別施設計画はいつどのような方法で公表されるのか。また、統廃合や売却を検討している施設や土地があるのか。

質問3

(質問事項)平成31年度当初予算編成の基本的考えについて  
(答弁者)町長

政府は、我が国の経済は、企業部門の改善が家計部門に広がり、好循環が進展する中で緩やかに回復しており、今後も、海外経済の回復が続く下で各種政策の効果もあいまって雇用・所得環境がさらに改善し、民需を中心とした景気回復が期待されるとしております。地方交付税は改革努力等に応じた配分強化が検討されるなど、地方財政改革を推し進める方針が示されており、さらには団塊世代が75歳に到達する34

年度に社会保障関連費の急増が見込まれることを踏まえ、本町における平成31年度予算編成について以下伺います。

- ① 新年度の予算編成における基本的な方針について。
- ② 町民税（個人・法人）、固定資産税の税込見込みについて。
- ③ 一般会計・特別会計・企業会計の7会計の予算総額はどのような規模となるのか。
- ④ 今日の課題として重点的に取り組む事業、特筆すべき事業内容について。
- ⑤ 29年度決算審査における附帯決議、また町政懇談会やご用聞き隊における意見や提言の取り扱いについて。
- ⑥ 総合計画や様々な計画と新年度との予算との整合性について。
- ⑦ 一時的に投資（初期費用）が必要であっても将来の財政負担の軽減につながる取り組みを積極的に実施する必要があると思うが、町の考えは。
- ⑧ 限られた人的資源の有効活用の観点からも、時間外勤務を前提としない事業量の設定や効率化・省力化のための抜本的な見直し等を通じて、町民が期待するサービスの効率的な提供が必要と考えるが、その取り組みについて。
- ⑨ 地方創生の取り組みについて、成果に連動した報酬の支払い等ができる契約が必要と考える。専門機関が成果査定・評価を実施する仕組みを取り入れてはどうか。
- ⑩ 経常経費や投資的経費について、その内容の総点検はいつどのような方法で実施したのか。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

|                 |             |                          |
|-----------------|-------------|--------------------------|
| 受付 No. <u>5</u> | 平成30年11月21日 | 午前・ <del>午後</del> 9 時00分 |
| 議席番号 <u>2</u> 番 | 水本 淳一       |                          |

| 番号  | 質問要旨   |
|-----|--|
| 質問1 | <p>(質問事項) 歴史的風致維持向上計画について<br/>(答弁者) 教育長</p> <p>今、矢巾町では、国道4号盛岡南道路延伸のための調査が始まるとともに、都市計画マスタープランにおいては将来の市街地拡大を想定している。来年9月には岩手医科大学附属病院が開院し、岩手の医療拠点としての発展が見込まれる。</p> <p>しかし、それとともに、岩手医大周辺や矢巾スマートインター周辺、史跡徳丹城跡周辺などにおいて、無秩序な開発が懸念される。その前に環境への配慮と建築物等の適正な規制・誘導を行うことにより、良好な市街地環境の形成を図っていくことも必要であると考えます。</p> <p>平成29年11月には静岡県伊豆の国市の歴史的風致維持向上計画を、また本年10月には、秋田県大仙市の旧池田氏庭園と史跡払田柵跡について、それぞれ視察研修を行った。以上の研修結果を踏まえ、以下について伺う。</p> <p>① 第7次矢巾町総合計画の文化財の保護と活用において、「本町には未指定の文化財が多くあるため、文化財調査を計画的に行い、実態把握に努める。」とあるが、その調査状況は。特に、明治から昭和にかけての将来文化財になりうる建築物についての調査状況は。</p> <p>② 歴史的風致維持向上計画について、町としてどのように考えているか。また、「歴史まちづくり法」を利用した文化財の保護と活用の考えはないか。</p> |



|            |  |
|------------|--|
|            | <p>③ 平成18年度に設計した史跡徳丹城跡第2次史跡整備基本設計の見直し状況は。</p>  |
| <p>質問2</p> | <p>(質問事項) 小中学校の学力向上の取り組みについて<br/>(答弁者) 教育長</p> <p>グローバル化が進む中、国際共通語である英語力の向上は日本の将来にとって極めて重要である。2020年度から小学校では、外国語活動が3・4年生で必修となり、5・6年生では外国語科が成績のつく教科になるなど、早期から英語習得に向けた取り組みがなされる。</p> <p>大学入試では「聞く」「読む」能力を図る試験が主流だったが、大学入試センター試験に変わって2020年度から新たに実施される大学入試共通テストでは「話す」「書く」も含めた4技能の力が問われるようになる。</p> <p>大学入試改革における民間英語検定試験の課題の1つに、各家庭の経済格差がある。少なくとも義務教育期間中は、家庭の経済状況に左右されずに、英語力向上の機会が全生徒に与えられるべきであると考えることから、以下について伺う。</p> <p>① 年3回行われる日本英語検定試験(準会場受験者)の町内児童生徒の受験希望者人数を把握し、検定料の補助を行うことにより、積極的に英語検定に取り組む機会を提供してはどうか。</p> <p>② 民間企業と連携を図り、町の施設(「やはぱーく」など)で受験対策講座を開講し、検定合格・点数向上の支援を行ってはどうか。</p> <p>③ 町内には県内唯一の外国語学系を有する不来方高校がある。現行の活動に加え、町内小中学校の連携強化を図り、児童生徒の英語学習支援、英語による総合交流を活性化させてはどうか。</p> |

質問3

(質問事項) 「ごみのポイ捨て」撲滅の取り組みについて  
(答弁者) 町 長

「ごみのポイ捨て」は自然景観を損ねるばかりではなく、火災や漂流・漂着ごみ、野生動物の殺傷など、他の社会問題の要因ともなっている。住民の皆さんの努力により表面上景観が保たれているが、ごみのポイ捨てが後を絶たない。ポイ捨て禁止条例が制定される自治体もある。

最近、とんでもない「ごみのポイ捨て」があり、モラル向上の必要性を感じたことから、以下について伺う。

- ① 「ごみのポイ捨て」の苦情はどの程度寄せられているか。また、その対応状況は。
- ② 「ごみのポイ捨て」撲滅に向けたモラル向上の取り組みについて。
- ③ ごみのポイ捨て禁止条例制定の考えは。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

|          |             |                         |
|----------|-------------|-------------------------|
| 受付 No. 6 | 平成30年11月21日 | 午前・ <del>午後</del> 9時00分 |
| 議席番号 5番  | 齊藤正範        |                         |

| 番号  | 質問要旨  |
|-----|---|
| 質問1 | <p>(質問事項) まちづくりの考えについて<br/>(答弁者) 町長、教育長</p> <p>① 矢巾地域まちづくりコンソーシアムについて、3月会議で30年度からの事業展開の準備中であるとの答弁があった、現在の事業活動と実績を伺う。</p> <p>② 地域おこし協力隊の3名が、コンソーシアムに派遣され活動しているが、その役割分担と、任期終了後も町内に残って移住を考えられる体制になっているのか伺う。</p> <p>③ 町内の空き家店舗がリニューアルされ、新たに活用されるニュースが報道された。所有者等が空き家であると確認している60件について、所有者等の意向は把握できているのか。また、空き家活用対策の状況は。</p> <p>④ 徳丹城史跡周辺の整備計画について、10月末に整備活用指導委員会が開催されたが、どのような意見があったのか。また、今後の整備計画は、どのように行っていくか。</p> <p>⑤ 来年1月から乗り合いタクシーによるデマンド交通の試験運行が実施されるが、事業内容の見直しについて、9月会議では町民の意見を聞いて判断するとの答弁でした。意見の集約時期と、変更する必要があった場合の事業変更申請の関係は、どの位日程が必要になるか伺う。</p> <p>また、実施事業者への試験運行に係る町負担額と、運賃収入はどのような内容となっているのか。</p> |

質問 2

(質問事項) 新農業委員会の活動方針について

(答 弁 者) 農業委員会会長

新たに任命された農業委員は、本町の場合、農地利用最適化推進委員も兼務することになっており、報酬は活動状況により3段階に支給される規定になっているが、現状はどのような状況か。また、農地利用最適化推進委員の活動として、新たに取り組んでいる事案は。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

|                 |             |                          |
|-----------------|-------------|--------------------------|
| 受付 No. <u>7</u> | 平成30年11月21日 | 午前・ <del>午後</del> 9 時30分 |
| 議席番号 <u>1</u> 番 | 赤丸秀雄        |                          |

| 番号  | 質問要旨   |
|-----|--|
| 質問1 | <p>(質問事項) 義務教育環境における現状と課題について<br/>(答弁者) 教育長</p> <p>義務教育環境における現状と課題について、小中学校へのエアコン設置、学力向上の取り組み、いじめ防止対策に関する条例の検証などについて、以下伺う。</p> <p>I 小中学校へのエアコン設置について</p> <p>① 新聞報道で6月設置を目標に取り組むとした経緯と今後のスケジュールは。</p> <p>② 国の補正予算は承認されたが、町への助成額の状況は。</p> <p>II 小中学生の学力向上等への取り組みについて</p> <p>① 教育振興運動の推進をもっと活性化するなど、各小学校の特色ある教育を更に推進する取り組みは。</p> <p>② 経済的な事情等により塾に通えない中学生で、もっと学びたい生徒への支援を充実する取り組みの考えを伺う。また、ボランティア団体がやはぱーくで開催している塾の状況について伺う。</p> <p>③ 読書の習慣づけを幼児期から推進する取り組みとして、図書センターの活用推進と蔵書の充実を図ってはどうか。</p> <p>④ 中学校への部活指導員の配置について、日程など進捗状況は。</p> <p>III いじめ防止対策に関する条例の検証と不登校児童・生徒</p> |

|             |  |
|-------------|--|
|             | <p>への対応について</p> <p>① いじめ防止対策に関する条例の検証結果について、現議員の任期中に報告される予定であるか伺う。</p> <p>② 小中学生の不登校について、人数と理由を把握しているか。また、三者面談の状況はどうなっているか伺う。</p> <p>③ いじめの件数の増加時期と教師繁忙期との因果関係について、どのように捉えているか伺う。</p>  |
| <p>質問 2</p> | <p>(質問事項) 健康に係わる町の取り組みについて<br/>(答 弁 者) 町長、教育長</p> <p>「日本一健康なまち やはば」をスローガンにしているが、具体的な取り組み強化を図る必要性があることから、以下伺う。</p> <p>① 地域の自治公民館をもっと活用し、健康づくりの取り組みを行う考えについて伺う。</p> <p>② シルバーリハビリ体操実施と組み合わせたお茶っこの会開催を行う考えについて伺う。</p> <p>③ 楽々クラブについて、サッカーくじtotoからの助成がなくなると聞いているが、町で支援する考えを伺う。</p> <p>④ 冬期間は運動する施設に限られ、活動に支障をきたしている。冬期間でも利用できる運動施設が必要であると考えているが、町の将来計画はどのように検討されているか伺う。</p> <p>⑤ 岩手医科大学附属病院移転開業が間近となったが、町民の健康への直接的メリットを病院側と検討されているか伺う。</p> |

質問3

(質問事項) 地域公共交通の方針について

(答弁者) 町長

町と議会で意見交換を実施しながら地域公共交通の在り方を検討してきましたが、運用方針案がまとまった段階で以下について伺う。

- ① 運営・運行内容を町民の多くに説明願いたいですが、説明会の開催時期と開催回数、また、高齢者等の交通弱者への説明・周知はどう実施するのか伺う。
- ② 町民と議会との懇談会や町民から、停留所や料金、運行時間について要望があるが、どのように対応するか伺う。
- ③ 巡回ルート型コミュニティバス運行と遠隔地域等のデマンド型タクシー運行をどう考え、いつからの運行体制になるか伺う。
- ④ 岩手医科大学附属病院開院を踏まえ、運行体制について岩手医大や県交通に確認した結果がどうであったか伺う。

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

|                 |             |                          |
|-----------------|-------------|--------------------------|
| 受付 No. <u>8</u> | 平成30年11月21日 | 午前・ <del>午後</del> 11時05分 |
| 議席番号 <u>3</u> 番 | 廣田清実        |                          |

| 番号  | 質問要旨  |
|-----|---|
| 質問1 | <p>(質問事項) 町営住宅について<br/>(答弁者) 町長</p> <p>町営住宅は各施設において問題がある。戸建住宅においては、老朽化による地震等の耐震問題、火災等による防火対策に問題があると思う。</p> <p>また、三堤住宅に入居する際、風呂桶の購入などの問題があり、入居を辞退する場合があると聞いている。そこで、町営住宅に対する今後の方針について、下記について問う。</p> <p>① 戸建て住宅の建て替えの構想はないか問う。<br/>② 三堤住宅の風呂場をユニット化する考えはないか問う。</p> |



|             |  |
|-------------|--|
| <p>質問 2</p> | <p>(質問事項) 異臭問題の解決について<br/>(答弁者) 町 長</p> <p>イセファームの臭気問題で移転を申し入れしているが、現状と今後の課題について問う。</p> <p>① 現在、法人税等、事業者が町に納税している金額はどのくらいか問う。<br/> ② 町民の雇用状況はどうなっているか問う。<br/> ③ 今後移転する場合、現在の土地を買い戻さなければならないのか。また、その場合、どのくらいの金額を想定しているか問う。<br/> ④ 移転が不可能な場合、新施設の可能性はないのか問う。<br/> ⑤ 新施設が可能な場合、土地利用計画において支障はないのか問う。</p>   |
| <p>質問 3</p> | <p>(質問事項) 人口 3 万人構想について<br/>(答弁者) 町 長</p> <p>人口 3 万人構想を実現するためには、今後予定される 600 世帯の造成では不足だと予想される。また、現時点において、住民登録をしていない学生が多いと聞くが、その対応について問う。さらには、道の駅構想の実現のため、町所有の土地が必要と思われる。その費用を捻出するためと上記を実現するために、方針として下記を問う。</p> <p>① 現在、町所有の土地で町営住宅の建設可能な土地はあるか問う。<br/> ② 学生の住民登録の増加を図るため、岩手医科大学校内に期間限定で出先機関を設置する等の考えはないか問う。<br/> ③ 旧矢巾中学校の跡地の売却を含めた、遊休町有地の利活用の考えについて問う。</p> |

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

|          |             |                          |
|----------|-------------|--------------------------|
| 受付 No. 9 | 平成30年11月21日 | 午前・ <del>午後</del> 11時35分 |
| 議席番号 9 番 | 川村農夫        |                          |

| 番号  | 質問要旨   |
|-----|--|
| 質問1 | <p>(質問事項) 開発行為に伴う治水対策について<br/>(答弁者) 町長</p> <p>岩手医大病院開院と将来の住宅需要を見込んだ市街化区域の開発増大を目指す中で、治水事業での悲劇的被災を生まないため、以下の3点を踏まえた水路計画上の水理的視点を質す。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○紫波町古館赤沼川左岸の宅地開発の教訓</li><li>○逆堰や間野々堰 (HWL99.6) の教訓</li><li>○<math>WE L = GL + wh + v^2 / 2g</math><br/>(WE L : 水のエネルギーエレベーション)<br/>(GL : 標高)<br/>(wh : 水深)<br/>(<math>v^2 / 2g</math> : 速度水頭)</li></ul> |

|             |   |
|-------------|---|
| <p>質問 2</p> | <p>(質問事項) 地域計画の視点欠落<br/>(答弁者) 町 長</p> <p>都市計画マスタープランが議決されましたが、今後留意すべき点を指摘して、町長の考えを伺う。</p> <p>① 矢巾町の境界を枠とした、箱庭弄りの如き計画、都南、古館、志和、雫石とは一切かかわらないよ宣言・・・とも取れる計画だが、周辺を視野に入れているのかを伺う。</p> <p>② 矢幅駅から花やはばの半径で古館駅から円を描けば200mほどの隙間ですが、古館駅圏内についての政策展開が全くない視点について、その根本を伺う。</p> |
| <p>質問 3</p> | <p>(質問事項) 中心中核の施策に周縁弱者は切り捨てか<br/>(答弁者) 町 長</p> <p>デマンドタクシーについての研究視察を踏まえ、交通対策特別委員会報告に盛り込んだ思いは委員同じく声を大にして訴えるものです。</p> <p>地方交付税の趣旨や富の再分配の視点も合わせて、町財源のなかで交通弱者に的を絞って、安価（200円）での交通手段の保障をしますと手を差し伸べて、笑顔とともに「和といわりの町」を謳歌する矢巾町長として、重点的さらに積極的に推進すべきと訴えるが最期の答えとして伺う。</p>   |

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

|           |             |                          |
|-----------|-------------|--------------------------|
| 受付 No. 10 | 平成30年11月21日 | <del>午前</del> ・午後 3 時55分 |
| 議席番号14番   | 小川文子        |                          |

| 番号  | 質問要旨  |
|-----|---|
| 質問1 | <p>(質問事項) ふるさと納税について<br/>(答弁者) 町長</p> <p>ふるさと納税について、総務省から返礼品は地場産品とし、また返礼率は30%を超えないよう見直しを求められたことから、以下伺う。</p> <p>① 11月1日までの見直しの経過について伺う。<br/>② 11月1日時点で、ビール類が全て削除になったが、その後ベアレンビールを取り扱うことにした経緯は。<br/>③ 町で作っているクラフトビール「YB」の今後の扱いについて。<br/>④ 前沢牛は地場産品としてふさわしくないのでは。<br/>⑤ 今後の地場産品の取り組みの方向性は。</p> |
| 質問2 | <p>(質問事項) デマンドタクシーについて<br/>(答弁者) 町長</p> <p>今後さらなる高齢化が進む中、地域で安心して買い物や通院ができるためにデマンドタクシーの運行が待ち望まれている。特に、停留所まで歩くのが困難になった、年金生活で余裕がない等といった町民の声に応える交通弱者対策が重要と考え、以下伺う。</p>  |

|            |   |
|------------|---|
|            | <p>① 全町民が利用対象となっているが、最も必要とする方が使えるよう登録制とした方がいいのではないか。</p> <p>② 停留所ではなく、戸口から戸口とするべきではないか。</p> <p>③ 1回の利用料大人500円、子ども300円は高すぎるのではないか。</p>                                     |
| <p>質問3</p> | <p>(質問事項) 町営住宅について<br/>(答弁者) 町長</p> <p>町営住宅の改修について、今年度、風張住宅のサッシと網戸が設置されたが、改修済みは7戸である。残りの戸建ても早急に改修すべきではないか。</p> <p>また、9月議会で全ての町営住宅の窓に網戸の設置を求めたが、その後の進捗状況はどうか。</p>          |
| <p>質問4</p> | <p>(質問事項) 子どもの医療費助成について<br/>(答弁者) 町長</p> <p>子どもの医療費助成の拡充について検討されていることから、以下伺う。</p> <p>① 現物給付に向けた検討の状況は。</p> <p>② 高校卒業までの医療費助成拡充の検討が示されたが、高校生だけではなく、18歳まで対象を拡大すべきではないか。</p> |

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

|           |             |                         |
|-----------|-------------|-------------------------|
| 受付 No. 11 | 平成30年11月22日 | <del>午前</del> ・午後 2時30分 |
| 議席番号13番   | 川村よし子       |                         |

| 番号  | 質問要旨  |
|-----|---|
| 質問1 | <p>(質問事項) 学校給食費無料化の情勢について<br/>(答弁者) 教育長</p> <p>学校給食費について、無料化や一部助成を実施する自治体が広がってきています。文部科学省は、7月に学校給食の全国調査を行い、結果を発表しましたが、2017年度学校給食の無料化を小中学校で実施している自治体が76自治体、小学校のみが4自治体、中学校のみが2自治体となっています。</p> <p>2012年度から実施している栃木県大田原市は、教育委員会発行の「学校給食無料化の概要」の中で趣旨として、①食育推進の必要性と重要性、②人材の育成、③地域社会の役割、④地産地消の取り組みの4点を挙げています。</p> <p>給食費の無料化は、少子化対策や子どもの貧困対策、教育の無償化対策にもつながることから、以下2点伺います。</p> <p>① 学校給食費の集金体制について、現在は、学校単位で子供会の父母を中心に集金する状況であり、収納率100%と報告されたが、今後金融機関等の個人の振り込みができないかどうか。</p> <p>② 給食費無料化の経費は、小学校約7000万円・中学校約4000万円と答弁があったが、様々な受け止め方があるが、「教育の無償化」の憲法理念や食育の充実や子育て支援などから、わが町でも無料化について考慮することが必要ではないか。</p> |

|             |  |
|-------------|--|
| <p>質問 2</p> | <p>(質問事項) 福祉施設・教育施設へのエアコン設置について<br/>(答 弁 者) 町 長</p> <p>今年、大阪北部地震で小学校のブロック塀の倒壊で女児が亡くなり、災害級の猛暑により愛知県で小学一年生が熱中症により亡くなる痛ましい事故が連続し発生しました。県内の公立小中学校へのエアコン設置について、25市町村が検討と報道されたが、学校や福祉施設へのエアコン設置は早期対応が望まれることから、以下2点伺います。</p> <p>① エアコン設置は来年6月を目安に行うことになるが、経済の地域循環の観点からも、町内の中小事業者を中心に分離発注をしてはどうか。</p> <p>② 町内の児童福祉施設・介護施設・社会福祉施設・教育施設で、エアコンが設置されていない施設はどれほどあり、今後の設置計画はどうか。</p> |
| <p>質問 3</p> | <p>(質問事項) 国保税の均等割減免について<br/>(答 弁 者) 町 長</p> <p>総務省は10月30日に開いた財政制度等審議会の分科会で、各市町村が行っている一般会計からの繰り入れは「すみやかに解消すべき」と提起した。4月から国保の財政運営責任を市町村から県に移行した機会に繰り入れをやめるように求めている。</p> <p>国保加入者は、非正規雇用の収入が低い世帯が多いので、国民皆保険制度の根幹を揺るがしかねない。子育て世帯を対象に、均等割の廃止や減免規定を設ける考えはないか。</p>   |

# 一般質問通告書

矢巾町議会議長 廣田光男 殿

|                  |             |                          |
|------------------|-------------|--------------------------|
| 受付 No. <u>12</u> | 平成30年11月22日 | <del>午前</del> ・午後 3 時00分 |
| 議席番号 <u>10</u> 番 | 山崎道夫        |                          |

| 番号  | 質問要旨  |
|-----|---|
| 質問1 | <p>(質問事項) 定住人口増に向けた土地利用の取り組みについて<br/>(答弁者) 町長</p> <p>本町の継続的発展と活性化を見据えた第7次総合計画における、人口3万人のまちづくりに向け、本年10月会議において、新たな都市計画マスタープランを議決した。</p> <p>3万人構想の実現には、新たに策定したマスタープランを最大限に活用し、有効な土地利用を図り、新規の住宅地や工業・流通業務地の確保に向け、早期に具体的な構想を立て、その実現に向けて全力で取り組むことが強く求められています。</p> <p>今後の新たな土地利用に向けた具体的取り組みについて、以下同う。</p> <p>① 市街化調整区域地区計画について、ガイドラインや申し出制度、提案制度に係る条例整備に向けた今後のスケジュールと、申し出者となる開発者や住民に対する説明会の実施について、どのように進める考えなのか明らかにされたい。</p> <p>② 都市計画マスタープランの改定(案)の説明の際、新規の住宅建設地について民間における開発行為の要請が数ヶ所あり、現在、県などの関係機関と協議を進めているとのことでした。</p> <p>住宅建設地の確保は長年の懸案事項ではありますが、早期</p> |



実現に向けた今後の取り組みとスケジュールを示されたい。

- ③ 新たな産業用地の造成と企業立地用地の確保に向け、町として、企業のニーズについて情報収集を行っているとのことですが、その結果、運送業と製造業の問い合わせが多いとのことでした。

先月の16日の新聞紙上で、広宮沢の2,560坪の敷地に、特殊車両等整備・販売の盛岡市にあった東和本社が、社屋と工場を新築移転したとの報道がありました。従業員は31人で来春2人の採用を予定しているとのことであり、本町にとっては大変喜ばしいことですが、現在、企業立地が可能な用地面積はどこにどの程度あるのか、また、過去5年間の企業誘致の数と業種、従業員数を示されたい。

- ④ 岩手医科大学附属病院の開業に向けて、関係する企業の進出はあるとのことですが、今後、さらに若い人達の定住促進を図るため、働く場の確保が喫緊の課題になっていると思います。

したがって、3万人構想の実現と密接に関係すると思われる企業誘致に向けた町としての取り組みと、新たな工業団地の整備をどう進める考えなのか、今後の取り組みについて具体的に示されたい。

質問 2

(質問事項) 「道の駅構想の実現」に向けた取り組みについて

(答弁者) 町 長

昨年8月27日の岩手日報紙上で、「矢巾町に道の駅」とのタイトルで、ゲートウェイ型の施設を検討していると大きく報道されました。道の駅設置については、町民の関心も高いことから、私はその後、12月会議で「道の駅構想」について一般質問を行いました。

その際、町長は、本年度中(平成29年度)の基本方針策定に向けて、先進地事例等を調査し、さまざまな道の駅の設置者や駅長から、実績に基づく意見やデータ等を収集していく。今後のスケジュールとしては、平成30年度中の事業計画策定と候補地選定に向け、詳細な交通量調査を行い事業化に向け準備を進めていく。との答弁がありました。

その後、年度末になって町長は、「道の駅」については一般国道4号盛岡南道路のルートが示されてから検討すると、当初の意気込みから、かなりトーンダウンしたのではないかとと思われる発言をされていますが、現在までの取り組みとして、例えば、事務事業推進会議など役場内における検討や、答弁にあった調査がどの程度進められて来ているのか、伺います。

また、今後、基本方針と事業計画策定に向けてどのような考えのもと、取り組もうとしているのか示されたい。

質問 3

(質問事項) 学校教育設備の整備に対する取り組みについて  
(答 弁 者) 教育長

- ① 2020年度から小学校のプログラミング教育必修化など、学校教育に向け情報通信技術（ICT）の活用が求められる中、県内の公立学校の教育用コンピューター1台あたりの児童生徒数は自治体により差があるのが実態である。

1台あたりの児童数が最も少ないのは、葛巻町の2.0人で、最下位の滝沢市は10.7人とその差は大きいですが、本町は5.3人で、後ろから8番目となっており、全国平均（5.6人）を上回ってはいますが、小学校のプログラミング教育は情報を活用する能力を重視する次期学習指導要領に盛り込まれたことから、本町としてもICT端末確保に向け、目標を設定し本腰を入れて整備する必要があると思いますが、今後の取り組みに対する見解を伺う。

- ② 昨年3月に小中学校の次期学習指導要綱が告知されましたが、理科教育においては、益々、観察・実験が重視され、今回はじめて学習指導要領の中で小中学校ともに環境整備に十分配慮することという一文が加えられた。

最近発表された平成30年度全国学力・学習状況調査における理科の結果では、実験から得られる結果を見通し、実験結果を基に分析し考察して、その内容を記述することに課題があることが分かったと言われている。

このことから、普段の理科授業において、理科室で十分な観察・実験をするため理科室の教育環境整備が求められているが、しかし、全国の市町村において、半数以上の自治体で国庫補助を生かした理科教育設備の整備がされていない状況にあると言われている。

こうした状況にある中、本町における小中学校の理科教育設備の整備状況は、充実した観察・実験授業が行えるよう整備されているのか、併せて理科の学力テスト結果についても伺う。